



この広報は共同募金の協力により発行しています。



別冊社協みの

つうしんむすび



第17号

平成29年10月1日

発行 社会福祉法人美濃市社会福祉協議会



社協犬 おむすび

暑からず寒からず、外出するには絶好の季節になりました。

適度な運動を心掛け健康づくりに取り組み「健康寿命」を伸ばしましょう！

さて、高齢化社会が進み「認知症」という言葉を耳にする機会が増え、私たちにとって身近な問題となりました。「認知症になっても安心して暮らせるまちづくりとは？」みなさんも一緒に考えてみませんか。

～人と人 心と心をつなぐ犬「おむすび」からのレポートです～

認知症について知ろう

9月12日、武義高校で認知症理解講座を開催し、2年4組の生徒29名が認知症への正しい理解と知識を学びました。脳の仕組み、症状、本人の気持ち、行動を詳しく学んだあとは、サポーターキャラバンメイト(本会職員)による寸劇「野菊ばあちゃん物語」を観劇。対応の仕方について意見を出し合いました。

生徒は「目線を合わせながら、否定せず、思いやりをもって対応することが大切だと思う。」などと話していました。



お知らせ

岐阜県医師会県民健康セミナー

認知症と 共に暮らしていく

協力：美濃市社会福祉協議会
関市社会福祉協議会

- 日時 H29年11月3日(金・祝)
- 場所 みの観光ホテル
- 申込 美濃市社会福祉協議会までご連絡ください
(☎35-2355)

参加には事前の申込が必要になります。

午前の部

10:30～12:30

無料

定員45名

認知症カフェ ～オレンジカフェ長良川～



認知症の方や家族の方、認知症に興味のある方も、悩みを相談したり情報交換したりする場です。

おいしい飲物やお菓子、軽食を食べながら楽しみませんか？

午後の部

13:30～16:00

無料

定員100名

講演会 「認知症と言われたときのために」

講師：国立長寿医療研究センター 副院長 鷲見幸彦

パネルディスカッション 「地域でつながる・支える・見守る認知症」

中濃地域で日頃から認知症の方と接し、支える人が集まり、安心して暮らすことができる地域について考えます。

落語を楽しむ



みのがみサロン(上牧地区)が岐阜大学落語研究会を招き、出前寄席を開催しました。

会場の紙のふるさとふれあいセンターには、サロン参加者やデイサービス利用者など約100名が集まり、ながら屋景郎さん(4年)らによる「初天神」他2演目を楽しみ、会場は大盛り上がり。

参加者からは「生の落語を初めて見ました。とても面白かった。」「勉強になりました。」などの感想が聞かれ、落語を身近に感じられる楽しい会となりました。

8月8日・22日に、美濃市泉町にある NPO 法人やまびこで「やまびこ こども食堂」が開催され、2日間で約110名の参加者がにぎやかに食事を楽しみました。

参加費は大人300円こども100円で、手作りのメイン料理の他にお惣菜も用意されました。



こどもも、大人も、楽しく一緒にご飯が食べられる場所「こども食堂を作りたい」と、やまびこは昨年準備を進め、本会はこの事業に協力してきました。

実施にあたり、新鮮な野菜と果物は「道の駅美濃にわか茶屋」から提供していただき、ボランティアもお手伝いに参加するなど、たくさんの人に支えられて実現することができました。こども達は「友達と一緒に食事ができて楽しい」と笑顔で答え、保護者からは「家事と育児の息抜きになって嬉しい。」との意見が聞かれました。

やまびこは「今後、こども達が悩んだり困ったりしたとき、気軽に立ち寄れる“場”になって欲しい。」との想いを胸に、活動を続けていく予定です。

みのりの家作業所からのお願い

みのりの家では、ハガキや名刺の材料となる牛乳パックを集めています。

みのりの家作業所または福祉会館までお届けください。



人と人 心と心をつなぐ笑顔の地域づくり
美濃市社会福祉協議会

〒501-3743
美濃市 95-2 福祉会館内
TEL (0575)35-2355 FAX (0575)35-1935
info@mino-shakyo.or.jp <http://www.mino-shakyo.or.jp>